

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第5373029号
(P5373029)

(45) 発行日 平成25年12月18日 (2013.12.18)

(24) 登録日 平成25年9月27日 (2013.9.27)

(51) Int. Cl.		F I			
G06Q	30/06	(2012.01)	G06Q	30/06	126E
G07G	1/12	(2006.01)	G06Q	30/06	150
G07G	1/01	(2006.01)	G07G	1/12	341A
G07G	1/14	(2006.01)	G07G	1/01	301D
			G07G	1/14	

請求項の数 6 (全 19 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2011-233335 (P2011-233335)
 (22) 出願日 平成23年10月24日 (2011.10.24)
 (65) 公開番号 特開2013-92842 (P2013-92842A)
 (43) 公開日 平成25年5月16日 (2013.5.16)
 審査請求日 平成24年10月11日 (2012.10.11)

(73) 特許権者 000003562
 東芝テック株式会社
 東京都品川区大崎一丁目11番1号 ゲートシティ大崎ウエストタワー 東芝テック株式会社内
 (74) 代理人 100089118
 弁理士 酒井 宏明
 (72) 発明者 今村 昌央
 東京都品川区東五反田二丁目17番2号 東芝テック株式会社内
 (72) 発明者 安藤 太郎
 東京都品川区東五反田二丁目17番2号 東芝テック株式会社内

審査官 梅岡 信幸

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 情報処理装置及びプログラム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

ネットワークを介して接続された端末装置から受け付けた注文にかかる注文商品の商品コードを記憶部に記憶する注文商品コード記憶手段と、

前記注文商品とみなされる在庫商品に対応付けられている商品コードを入力する商品コード入力手段と、

前記在庫商品に対応付けられている商品コードと、前記記憶部に記憶された前記注文商品の商品コードとを比較する比較手段と、

当該各商品コードは一致しないが、共通する物品コードを有するNON-PLU(Price Look UP)コードであるとの比較結果があった場合に、前記在庫商品に対応付けられている商品コードに含まれる価格情報と、前記注文商品の商品コードに含まれる価格情報とを比較する価格情報比較手段と、

前記在庫商品に対応付けられている商品コードに含まれる価格情報と前記注文商品の商品コードに含まれる価格情報との差が、予め定められた範囲内にある場合、前記在庫商品を前記注文商品とみなす商品代替手段と、
 を備える情報処理装置。

【請求項2】

前記商品代替手段は、前記注文商品の商品コードに含まれる価格情報に対する上限金額幅を予め定めおき、前記在庫商品に対応付けられている商品コードに含まれる価格情報と前記注文商品の商品コードに含まれる価格情報との差が、前記上限金額幅内であれば、

前記在庫商品を前記注文商品とみなす、
請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記商品代替手段は、前記注文商品の商品コードに含まれる価格情報に対する上限金額幅および下限金額幅を予め定めておき、前記在庫商品に対応付けられている商品コードに含まれる価格情報と前記注文商品の商品コードに含まれる価格情報との差が、前記上限金額幅内であれば、前記在庫商品を前記注文商品とみなす、
請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記商品代替手段は、前記在庫商品に対応付けられている商品コードに含まれる価格情報と前記注文商品の商品コードに含まれる価格情報との差が、予め定められた範囲内にならない場合、エラーである旨を報知する、
請求項 1 記載の情報処理装置。

10

【請求項 5】

ネットワークを介して接続された端末装置から受け付けた注文にかかる注文商品の商品コードを記憶部に記憶する注文商品コード記憶手段と、

前記注文商品とみなされる在庫商品に対応付けられている商品コードを入力する商品コード入力手段と、

前記在庫商品に対応付けられている商品コードと、前記記憶部に記憶された前記注文商品の商品コードとを比較する比較手段と、

20

当該各商品コードは一致しないが、共通する物品コードを有するNON - PLU (P r i c e L o o k U P) コードであるとの比較結果があった場合に、前記在庫商品に対応付けられている商品コードに含まれる価格情報と、前記注文商品の商品コードに含まれる価格情報とを比較する価格情報比較手段と、

前記在庫商品に対応付けられている商品コードに含まれる価格情報と前記注文商品の商品コードに含まれる価格情報との差が、予め定められた範囲内にある場合、前記在庫商品を前記注文商品とみなす商品代替手段と、
としてコンピュータを機能させるプログラム。

【請求項 6】

前記商品代替手段は、前記在庫商品に対応付けられている商品コードに含まれる価格情報と前記注文商品の商品コードに含まれる価格情報との差が、予め定められた範囲内にならない場合、エラーである旨を報知する、
請求項 5 記載のプログラム。

30

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明の実施形態は、情報処理装置及びプログラムに関する。

【背景技術】

【0002】

近年のネットワークの普及により、インターネットを介して商品の販売を行う販売方式 (E C : Electronic Commerce) が盛んに行われている。また、スーパーマーケット等の店舗においても、店舗内で販売している商品をインターネットを介して販売する、所謂ネットスーパーと呼ばれる販売方式が行われている。ネットスーパーでは、顧客から商品購入の注文を受け付けると、該当する商品を店舗内から収集するピッキング作業と、収集した商品を顧客毎に仕分けるパッキング作業とが行われ、各顧客に配達されるよう運用されている。

40

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

しかしながら、従来の方式によれば、発行されたピッキング伝票に基づくピッキング作

50

業において、対象商品が肉や魚等のグラム販売商品や惣菜等の数量販売商品のようなコードシンボルの中に販売金額が記録されているNON-PLU商品について、ネットスーパーで注文した商品と同じ金額の商品が店舗に存在せず、欠品(品切れ)が発生してしまうという問題がある。

【課題を解決するための手段】

【0004】

実施形態の情報処理装置は、ネットワークを介して接続された端末装置から受け付けた注文にかかる注文商品の商品コードを記憶部に記憶する注文商品コード記憶手段と、前記注文商品とみなされる在庫商品に対応付けられている商品コードを入力する商品コード入力手段と、前記在庫商品に対応付けられている商品コードと、前記記憶部に記憶された前記注文商品の商品コードとを比較する比較手段と、当該各商品コードは一致しないが、共通する物品コードを有するNON-PLU(P r i c e L o o k U P)コードであるとの比較結果があった場合に、前記在庫商品に対応付けられている商品コードに含まれる価格情報と、前記注文商品の商品コードに含まれる価格情報とを比較する価格情報比較手段と、前記在庫商品に対応付けられている商品コードに含まれる価格情報と前記注文商品の商品コードに含まれる価格情報との差が、予め定められた範囲内にある場合、前記在庫商品を前記注文商品とみなす商品代替手段と、を備える。

10

【0005】

実施形態のプログラムは、ネットワークを介して接続された端末装置から受け付けた注文にかかる注文商品の商品コードを記憶部に記憶する注文商品コード記憶手段と、前記注文商品とみなされる在庫商品に対応付けられている商品コードを入力する商品コード入力手段と、前記在庫商品に対応付けられている商品コードと、前記記憶部に記憶された前記注文商品の商品コードとを比較する比較手段と、当該各商品コードは一致しないが、共通する物品コードを有するNON-PLU(P r i c e L o o k U P)コードであるとの比較結果があった場合に、前記在庫商品に対応付けられている商品コードに含まれる価格情報と、前記注文商品の商品コードに含まれる価格情報とを比較する価格情報比較手段と、前記在庫商品に対応付けられている商品コードに含まれる価格情報と前記注文商品の商品コードに含まれる価格情報との差が、予め定められた範囲内にある場合、前記在庫商品を前記注文商品とみなす商品代替手段と、としてコンピュータを機能させる。

20

【図面の簡単な説明】

30

【0006】

【図1】図1は、販売システムの全体構成を概略的に示したシステム構成図である。

【図2】図2は、ネットスーパー管理サーバの構成を示すブロック図である。

【図3】図3は、注文管理ファイルの一例を示す模式図である。

【図4】図4は、配達便管理ファイルの一例を示す模式図である。

【図5】図5は、パッキング装置の構成を示すブロック図である。

【図6】図6は、ECサイトの初期ページの一例を示す正面図である。

【図7】図7は、商品購入ページの一例を示す正面図である。

【図8】図8は、配達日時指定ページの一例を示す正面図である。

【図9】図9は、ピッキング伝票発行処理の流れを示すフローチャートである。

40

【図10】図10は、ピッキング伝票の一例を示す平面図である。

【図11】図11は、パッキング処理及び欠品チェック処理の流れを示すフローチャートである。

【図12】図12は、NON-PLU商品対応処理の流れを示すフローチャートである。

【図13】図13は、NON-PLU商品の上限金額および下限金額の一例を示す説明図である。

【図14】図14は、NON-PLU商品の上限金額および下限金額の一例を示す説明図である。

【図15】図15は、配送伝票の一例を示す平面図である。

50

【発明を実施するための形態】

【 0 0 0 7 】

以下、添付図面を参照して、実施形態に係る情報処理装置及びプログラムの実施形態を詳細に説明する。なお、以下に説明する実施の形態によりこの発明が限定されるものではない。

【 0 0 0 8 】

図 1 は、販売システム 1 の全体構成を概略的に示したシステム構成図である。図 1 に示したように、販売システム 1 は、商品販売データ処理装置としての複数台の P O S (P o i n t O f S a l e s : 販売時点管理) 端末 2 および各 P O S 端末 2 を L A N 3 によって接続して集中管理する店舗サーバ 4 を備える P O S システム 7 と、専用回線 8 を介して店舗サーバ 4 を接続する本部サーバ 9 と、を備えている。

10

【 0 0 0 9 】

P O S システム 7 および本部サーバ 9 について簡単に説明する。店舗サーバ 4 は、店舗で販売される各種の商品情報を格納する商品マスタファイルを有して P O S システム 7 全体の制御を受け持つものであり、キーボード、表示器、プリンタ及びハードディスクドライブ装置などが接続されている (何れも図示せず) 。

【 0 0 1 0 】

P O S 端末 2 は、ユニークなレジナンバを割り振られて精算場所に配設されており、キャッシャが売上処理を行うための端末である。P O S 端末 2 は、キーボード、ドロワ、表示器、カードリーダー/ライター、コードスキャナ等が接続されている。P O S 端末 2 は、コードスキャナによりバーコードや二次元コード等の形態で各商品に付加された商品コードを読み取ると、この商品コードを店舗サーバ 4 に通知することで商品の問い合わせを行う。店舗サーバ 4 は、P O S 端末 2 からの問い合わせに応じて商品マスタファイルを検索し、該当する商品コードに対応した商品情報を読み出して P O S 端末 2 へ送信する。P O S 端末 2 は、店舗サーバ 4 から対応する商品の単価等を取得する。また、P O S 端末 2 は、購入対象となった商品の単価及び販売個数に基づき、これら商品の総額を算出し精算等の処理を行って売上データを生成した後、当該売上データを所定のタイミングで店舗サーバ 4 に送信する。

20

【 0 0 1 1 】

本部サーバ 9 は、C P U (C e n t r a l P r o c e s s i n g U n i t) 、 R O M (R e a d O n l y M e m o r y) 、 R A M (R a n d o m A c c e s s M e m o r y) 等で構成されるコンピュータ構成の制御部 (図示せず) を備えており、各店舗の店舗サーバ 4 から送信される売上データを管理したり、各店舗の店舗サーバ 4 に対して商品マスタファイルを送信したりする。

30

【 0 0 1 2 】

加えて、図 1 に示したように、販売システム 1 は、P O S システム 7 が設置された店舗内で販売されている商品を、インターネット等のネットワーク 5 を介して販売するネットスーパーサービスを提供するためのサーバ装置であるネットスーパーサーバ 6 を備えている。ネットスーパーサーバ 6 は、インターネット 5 を介して顧客端末 1 0 から接続可能である。

【 0 0 1 3 】

ネットスーパーサーバ 6 は、C P U 、 R O M 、 R A M 等で構成される制御部、キーボードや各種ボタン等の入力デバイス、C R T や L C D 等の表示デバイス、H D D やフラッシュメモリ等の記憶デバイス、専用回線 8 及びネットワーク 5 に接続可能な通信インタフェース等を備え (何れも図示せず) 、記憶デバイスに記憶された所定のプログラム (例えば、W e b アプリケーション、データベースプログラム等) を制御部が実行することで各種の機能部を実現する。

40

【 0 0 1 4 】

顧客端末 1 0 は、ネットスーパーの顧客 (ユーザ) が操作するパーソナルコンピュータ (P e r s o n a l c o m p u t e r : P C) や携帯電話等の端末装置である。顧客端末 1 0 は、C P U 、 R O M 、 R A M 等で構成される制御部、キーボードや各種ボタン等の入力デバイス、C R T や L C D 等の表示デバイス、H D D やフラッシュメモリ等の記憶デバイス、ネットワ

50

ーク5に接続可能な通信インタフェース等を備え(何れも図示せず)、記憶デバイスに記憶された所定のプログラム(例えば、Webブラウザ等)を制御部が実行することで各種の機能を実現する。

【0015】

また、店舗には、ネットスーパーサーバ6で受け付けた注文商品を含む注文商品リストを当該ネットスーパーサーバ6から受け取って管理するネットスーパー管理サーバ11と、ネットスーパーサーバ6で受け付けた注文商品リストに従って該当する商品を店舗内から収集した商品を顧客毎に仕分けるパッキング作業に用いるパッキング装置12とが、備えられている。

【0016】

ネットスーパー管理サーバ11は、ネットスーパーサービスを提供するために必要な各種のデータを管理する情報処理装置であり、その電装系は例えば図2に示すような構成とされている。

【0017】

ここで、図2は、ネットスーパー管理サーバ11の構成を示すブロック図である。図2に示すように、ネットスーパー管理サーバ11は、CPU、ROM、RAM等で構成されるコンピュータ構成の制御部31と、バス32と、LAN3に接続可能な第1通信インタフェース331と、ネットワーク5に接続可能な第2通信インタフェース332と、I/O機器制御部34と、キーボードやマウス等により構成される操作入力部35と、CRTやLCD等の表示デバイスにより構成される表示部36と、HDDやフラッシュメモリ等の記憶デバイスにより構成される記憶部37と、プリンタ14を接続するプリンタ接続部38と、を備えている。

【0018】

制御部31は、バス32に接続された第1通信インタフェース331を介してパッキング装置12との間で相互にオンライン通信を実行し得るように構成されている。また、制御部31は、バス32に接続された第2通信インタフェース332を介してネットスーパーサーバ6との間で相互にオンライン通信を実行し得るように構成されている。また、制御部31には、バス32及びI/O機器制御部34を介して、操作入力部35、表示部36、記憶部37が接続されている。

【0019】

記憶部37は、制御部31が実行する各種プログラムや当該プログラムの実行に係る各種設定情報を記憶している。制御部31は、記憶部37に記憶された所定のプログラムとの協働により各種の機能部を実現し、パッキング装置12とともに後述するパッキング処理及び欠品チェック処理等を実行する。

【0020】

また、記憶部37は、ネットスーパーサービスを提供するために必要なデータとして、注文管理ファイル374及び配達便管理ファイル375等を記憶している。

【0021】

注文管理ファイル374は、ネットスーパーサーバ6から送信される後述する注文商品リストを、制御部31(注文商品コード記憶手段54)によって管理(保持)するためのデータテーブルである。図3は、注文管理ファイル374の一例を示す模式図である。図3に示すように、注文管理ファイル374には、便番号、箱番号、シーケンス番号、商品コード、商品名、カテゴリID及びチェックステータスを関連付けたレコードが保持されている。

【0022】

ここで、便番号は、商品の配達を行う配達便を識別するための識別子であって、便番号が同一の商品は同一の便で配達される。箱番号は、配達のために商品を収容する収容箱を識別するための識別子である。ネットスーパーにより購入(注文)された商品、即ち注文管理ファイル374に登録された商品コード(商品名)は、箱番号に示された収容箱に収容され、注文を行った顧客の元へ配達される。なお、各収容箱には、固有の箱番号がバー

10

20

30

40

50

コードや二次元コード等のコードシンボルの形態で予め付与されているものとする。また、シーケンス番号は、便番号が同一の各商品に順次割り当てられる管理番号である。

【 0 0 2 3 】

チェックステータスは、後述するパッキング処理を行ったか否か、及び、商品の欠品を表すための情報である。なお、本実施形態では、チェックステータスが“ 0 ”のときパッキング処理が未処理であることを意味し、“ 1 ”のときにパッキング処理が処理済であることを意味する。また、チェックステータスが“ 9 ”のときに、その商品が欠品であることを意味している。なお、チェックステータスの初期（デフォルト）状態は“ 0 ”であるとする。

【 0 0 2 4 】

配達便管理ファイル 3 7 5 は、各便番号に対応する配達日時を管理するためのデータテーブルである。図 4 は、配達便管理ファイル 3 7 5 の一例を示す模式図である。図 4 に示すように、配達便管理ファイル 3 7 5 は、便番号と関連付けて、配達日付、配達時刻及び締切時刻を保持している。

【 0 0 2 5 】

配達日付及び配達時刻は、商品を配達する日付とその時間帯とを表している。また、締切時刻は、対応する便番号での受け付けを締め切る時刻を表しており、図 4 では配達時刻の 3 時間前を締切時刻とした例を示している。なお、制御部 3 1 は、図示しない R T C (Real Time Clock) 等の計時部で計時される現在日時に基づき、締切時刻を経過した配達便のレコードを配達便管理ファイル 3 7 5 から削除する。

【 0 0 2 6 】

次に、パッキング装置 1 2 について説明する。パッキング装置 1 2 は、パッキング作業を行う作業員（以下、パッキング作業員という）が携帯可能なハンディターミナル等であって、その電装系は例えば、図 5 に示すような構成とされている。

【 0 0 2 7 】

図 5 は、パッキング装置 1 2 の構成を示すブロック図である。図 5 に示すように、パッキング装置 1 2 は、コードスキャナ 4 1、操作入力部 4 2、表示部 4 3、通信インタフェース 4 4、記憶部 4 5 及び制御部 4 6 等を備え、各部がバス 4 7 により接続されている。

【 0 0 2 8 】

コードスキャナ 4 1 は、商品又は収納箱に付加されたコードシンボルを読み取り、当該コードシンボルをデコードした結果を制御部 4 6 へ出力する。操作入力部 4 2 は、キーボード等の入力デバイスにより構成され、ユーザの操作に応じた操作信号を制御部 4 6 へ出力する。表示部 4 3 は、LCD 等の表示デバイスにより構成され、制御部 4 6 の制御に従い各種の情報を表示する。通信インタフェース 4 4 は、LAN 3 に接続可能な無線通信インタフェースであって、制御部 4 6 の制御に従い、アクセスポイント 1 3 を介してネットスーパー管理サーバ 1 1 へアクセスを行う。

【 0 0 2 9 】

記憶部 4 5 は、フラッシュメモリ等の記憶デバイスにより構成され、制御部 4 6 が実行する各種プログラムや当該プログラムの実行に係る各種設定情報を記憶している。制御部 4 6 は、CPU、ROM、RAM 等で構成され、記憶部 4 5 に記憶された所定のプログラムとの協働により各種の機能部を実現し、ネットスーパー管理サーバ 1 1 とともに後述するパッキング処理及び欠品チェック処理等を実行する。

【 0 0 3 0 】

ここで、ネットスーパーで商品の購入（注文）が行われるまでの動作の一例について説明する。まず、顧客端末 1 0 の制御部（以下、単に顧客端末 1 0 という）では、ユーザの操作に応じて、ネットスーパーサーバ 6 が提供する EC サイトのアドレス宛にアクセスを行う。一方、ネットスーパーサーバ 6 の制御部（以下、単にネットスーパーサーバ 6 という）では、顧客端末 1 0 からのアクセスを受け付けると、図示しない記憶部に記憶されたプログラム等に基づいて商品の販売を行う EC サイトの初期ページを生成し、顧客端末 1 0 へ送信する。顧客端末 1 0 は、ネットスーパーサーバ 6 から提供された初期ページを図

10

20

30

40

50

示しない表示部に表示し、ユーザの操作入力を待機する。

【 0 0 3 1 】

図 6 は、E C サイトの初期ページの一例を示す正面図である。図 6 において、領域 A 1 には、各商品カテゴリ（例えば、野菜、果物等）を表す文字列が一覧表示されている。また、領域 A 2 には、各商品カテゴリを表すアイコン画像が一覧表示されている。

【 0 0 3 2 】

顧客端末 1 0 は、初期ページの領域 A 1 又は領域 A 2 に表示された複数の商品カテゴリから、特定の商品カテゴリ（例えば、野菜）がユーザにより選択されたことを検知すると、この選択された商品カテゴリのカテゴリ名称又はカテゴリ ID をネットスーパーサーバ 6 へ通知する。

10

【 0 0 3 3 】

一方、ネットスーパーサーバ 6 は、顧客端末 1 0 からカテゴリ名称又はカテゴリ ID の選択通知を受け付けると、店舗サーバ 4 に記憶された商品マスタファイルを参照し、当該カテゴリ名称又はカテゴリ ID に対応するレコードを読み出す。そして、ネットスーパーサーバ 6 は、読み出した各レコードに基づき、購入注文を受け付けるための商品購入ページを生成すると、顧客端末 1 0 へ送信する。顧客端末 1 0 は、ネットスーパーサーバ 6 から提供された商品購入ページを図示しない表示部に表示し、ユーザの操作入力を待機する。

【 0 0 3 4 】

図 7 は、商品購入ページの一例を示す正面図である。図 7 に示すように、商品購入ページは、商品マスタファイルから読み出された商品を購入するための購入画面 G 1 を表示する。

20

【 0 0 3 5 】

顧客端末 1 0 では、購入画面 G 1 に設けられた購入ボタン B 1 の押下を、図示しないキーボードやマウス等を介して受け付ける毎に、対応する商品の商品コード、カテゴリ及びその購入数量を購入対象としてネットスーパーサーバ 6 へ通知する。そして、顧客端末 1 0 は、商品選択が完了した旨の指示を図示しないキーボードやマウス等を介して受け付けると、この選択完了の旨をネットスーパーサーバ 6 へ通知する。

【 0 0 3 6 】

次いで、ネットスーパーサーバ 6 では、顧客端末 1 0 から選択完了の旨の通知を受け付けると、配達日時の指定を受け付けるための配達日時指定ページを生成し、顧客端末 1 0 へ送信する。顧客端末 1 0 は、ネットスーパーサーバ 6 から提供された配達日時指定ページを図示しない表示部に表示し、ユーザの操作入力を待機する。

30

【 0 0 3 7 】

図 8 は、配達日時指定ページの一例を示す正面図である。図 8 に示すように、配達日時指定ページの領域 A 4 には、配達便管理ファイル 3 7 5 に保持された各便番号に対応する配達日時が選択可能に構成されている。顧客端末 1 0 は、特定の配達日時が選択されたことを図示しないキーボードやマウス等を介して受け付けると、この選択された配達日時をネットスーパーサーバ 6 へ通知する。

【 0 0 3 8 】

40

ネットスーパーサーバ 6 は、顧客端末 1 0 から配達日時の通知を受け付けると、この配達日時に対応する便番号に対して、購入対象として通知された各商品の商品コードなどを関連付けた注文商品リストを生成する。その後、ネットスーパーサーバ 6 は、注文商品リストをネットスーパー管理サーバ 1 1 へインターネット 5 を介して送信する。

【 0 0 3 9 】

ネットスーパー管理サーバ 1 1 の制御部 3 1 は、ネットスーパーサーバ 6 から注文商品リストを受け付ける毎に、当該注文商品リストに含まれた便番号及び商品コードを、図 3 に示したレコード形式で注文管理ファイル 3 7 4 に順次格納する。なお、箱番号については、注文商品リスト及び当該注文商品リストに含まれた商品の種別や数量に応じて、商品毎に割り当てを行うものとする。また、シーケンス番号は、同一の便番号について注文管

50

理ファイル374への格納順に割り当てを行うものとする。

【0040】

POSシステム5の店舗内でピッキング作業を行う担当者(以下、ピッキング作業者という)は、各便番号に応じた時刻に、ネットスーパー管理サーバ11を操作して、注文管理ファイル374中の対応する便番号に関連付けられた注文商品リストに含まれた商品をカテゴリID別に抽出したピッキング伝票をプリンタ14から発行させる。

【0041】

ここで、ネットスーパー管理サーバ11におけるピッキング伝票発行処理について説明する。ネットスーパー管理サーバ11の制御部31は、記憶部37に記憶されたピッキング伝票発行プログラムとの協働により各種の機能部(コードシンボル生成手段51、ピッキング伝票出力手段52、コードシンボル付加判断手段53等)を実現し、ピッキング伝票発行処理を実行する。

10

【0042】

ここで、図9はピッキング伝票発行処理の流れを示すフローチャートである。図9に示すように、ネットスーパー管理サーバ11の制御部31は、ピッキング作業者によるキーボードやマウス等により構成される操作入力部35の操作、または図示しないRTC(Real Time Clock)等の計時部で計時される現在日時に基づき、所定の便番号についてのピッキング伝票発行指示を受け付けると(ステップS1; Yes)、注文管理ファイル374中の対応する便番号に関連付けられた各商品について、商品コード、商品名、商品画像、単価および数量等を抽出する(ステップS2)。

20

【0043】

ネットスーパー管理サーバ11の制御部31は、便番号に関連付けられた各商品についての商品コード、商品名、商品画像、単価および数量等を、カテゴリ単位でまとめる(ステップS3)。

【0044】

次いで、ネットスーパー管理サーバ11の制御部31(コードシンボル付加判断手段53)は、商品に対してバーコードや二次元コード等のコードシンボルが貼付けされておらずPOS端末2に接続されたコードスキャナの操作パネルに割り付けられている商品があるか否かを判断する(ステップS4)。コードシンボルが貼付けされていない商品は、例えば、野菜、惣菜、鮮魚等のカテゴリに属するものである。したがって、このような判断は、野菜、惣菜、鮮魚等のカテゴリ単位で行うことができる。なお、商品に対してバーコードや二次元コード等のコードシンボルが貼付けされているか否かの判断は、注文商品の属するカテゴリに応じて判断するものに限られるのではなく、コードシンボルが貼付けされていないことを示すフラグを商品情報の一つとするものであったり、バーコードや二次元コード等のコードシンボルにコードシンボルが貼付けされていないことを示すフラグを持たせるものであったりしても良い。

30

【0045】

コードスキャナの操作パネルに割り付けられている商品があると判断した場合には(ステップS4; Yes)、ネットスーパー管理サーバ11の制御部31(コードシンボル生成手段51)は、当該商品の商品コードをバーコードや二次元コード等のコードシンボルの形態に生成する(ステップS5)。

40

【0046】

そして、ネットスーパー管理サーバ11の制御部31(ピッキング伝票出力手段52)は、便番号に関連付けられた各商品についての商品コード、商品名、商品画像、単価、数量、必要であればコードシンボル等をカテゴリ単位でまとめたピッキング伝票として発行する(ステップS6)。

【0047】

図10は、ピッキング伝票100の一例を示す平面図である。図10に示すように、ピッキング伝票100は、注文管理ファイル374中の対応する便番号に関連付けられた各商品について、カテゴリ単位で商品コード、商品名、商品画像、単価および数量等を印字

50

したものである。このようにカテゴリ単位でピッキング伝票 100 を発行するようにすることで、部門ごとに効率よく商品をピッキングすることができる。

【0048】

また、ピッキング伝票 100 は、コードスキャナの操作パネルに割り付けられている商品（コードシンボルが付されていない商品）については、当該商品の商品コードを表すバーコードや二次元コード等のコードシンボル C を商品情報の一つとして特記事項欄に印刷している。このようにコードスキャナの操作パネルに割り付けられている商品の商品コードを表すコードシンボル C を印刷しておくことにより、後述するパッキング処理及び欠品チェック処理の際に、ピッキング伝票 100 のコードシンボル C をスキャニングすることで、商品に付加されたコードシンボルのスキャンと同様に仕分けすることができるように
10

【0049】

ピッキング作業者は、発行されたピッキング伝票 100 に基づき、注文管理ファイル 374 中の対応する便番号に関連付けられた各商品を店舗内から収集する。そして、収集された商品がバックヤード等に運ばれ、パッキング作業者に引き渡される。

【0050】

ところで、発行されたピッキング伝票 100 に基づくピッキング作業において、対象商品が肉や魚等のグラム販売商品や惣菜等の数量販売商品である場合には、ピッキング作業者は注意が必要である。なぜなら、グラム販売商品や数量販売商品のようなコードシンボルの中に販売金額が記録されている NON - PLU 商品の場合、ネットスーパーで注文した商品と同じ金額の商品が店舗に存在しない場合があるためである。このようにネットスーパーで注文した商品と同じ金額の商品が店舗に存在しない場合、ピッキング作業者は、ピッキング伝票 100 上の販売金額に対して幅を持たせた（例えば、ピッキング伝票 100 上の販売金額よりも高額とする）商品をピッキングする。
20

【0051】

上述のようにネットスーパーで注文した商品と同じ金額の商品が店舗に存在しない場合であって、ピッキング作業者がピッキング伝票 100 上の販売金額に対して幅を持たせた
30（例えば、ピッキング伝票 100 上の販売金額よりも高額）の商品をピッキングした場合の処理については、後述する。

【0052】

以下、図 11 を参照して、ネットスーパー管理サーバ 11 とパッキング装置 12 との協働により実行されるパッキング処理及び欠品チェック処理について説明する。ネットスーパー管理サーバ 11 の制御部 31 は、記憶部 37 に記憶されたパッキング処理プログラムとの協働により各種の機能部（注文商品コード記憶手段 54、商品コード入力手段 55、比較手段 56、価格情報比較手段 57、商品代替手段 58 等）を実現し、パッキング処理及び欠品チェック処理の一部を実行する。

【0053】

ここで、図 11 は、ネットスーパー管理サーバ 11 とパッキング装置 12 との協働により実行されるパッキング処理及び欠品チェック処理の流れを示すフローチャートである。なお、本処理の前提として、パッキング装置 12 を操作するパッキング作業者により、本パッキング作業に係る便番号が操作入力部 42 を介して入力されるものとする（ステップ S11；Yes）。また、ピッキング作業者から引き渡された商品の一つがパッキング作業者により手に取られ、パッキング装置 12 のコードスキャナ 41 により、当該商品に付加されたコードシンボルの読み取りが行われるものとする。
40

【0054】

また、前述したように、コードシンボルが貼付けされておらず、コードスキャナの操作パネルに割り付けられている商品については、ピッキング伝票 100 のコードシンボル C
50

をパッキング装置 1 2 のコードスキャナ 4 1 により読み取ることになる。このようなピッキング伝票 1 0 0 のコードシンボル C のパッキング装置 1 2 のコードスキャナ 4 1 による読み取りは、ピッキング伝票 1 0 0 が野菜、惣菜、鮮魚等のカテゴリ毎に発行されているので、コードシンボルが貼付けされた商品を全て読み取った後に行うと効率が良い。

【 0 0 5 5 】

まず、パッキング装置 1 2 の制御部 4 6 (商品コード入力手段 5 5) は、コードスキャナ 4 1 で読み取られた商品コードを取得すると (ステップ S 1 2)、予め入力された便番号とこの商品コードの組をネットスーパー管理サーバ 1 1 へ通知することで箱番号の問い合わせを行う (ステップ S 1 3)。

【 0 0 5 6 】

ネットスーパー管理サーバ 1 1 の制御部 3 1 (比較手段 5 6) は、パッキング装置 1 2 から便番号及び商品コードの組を受け付けると、注文管理ファイル 3 7 4 から、この組に対応し、且つチェックステータスが未処理のレコードを検索し (ステップ S 3 1)、該当するレコードが存在するか否かを判定する (ステップ S 3 2)。

【 0 0 5 7 】

ステップ S 3 2 において、該当するレコードが存在すると判定した場合 (ステップ S 3 2 ; Y e s)、制御部 3 1 は、該当する各レコードに含まれるシーケンス番号のうち、最小の値に関連付けられた箱番号をパッキング装置 1 2 へ送信する (ステップ S 3 4)。

【 0 0 5 8 】

一方、該当するレコードが存在しないと判定した場合 (ステップ S 3 2 ; N o)、制御部 3 1 (比較手段 5 6) は、NON - P L U (P r i c e L o o k U P) 商品対応処理を実行する (ステップ S 3 3)。

【 0 0 5 9 】

ステップ S 3 3 の NON - P L U 商品対応処理について図 1 2 のフローチャートを参照しつつ説明する。図 1 2 に示すように、ネットスーパー管理サーバ 1 1 の制御部 3 1 (比較手段 5 6) は、まず、パッキング対象商品の商品コードが NON - P L U 商品か否かを判断する (ステップ S 5 1)。NON - P L U 商品か否かの判断は、例えば商品コードに対応付けて NON - P L U 商品か否かのフラグを立てておき、このフラグを確認することによって行うことが可能である。

【 0 0 6 0 】

パッキング対象商品の商品コードが NON - P L U 商品でない場合には (ステップ S 5 1 ; N o)、ネットスーパー管理サーバ 1 1 の制御部 3 1 は、通知された商品コードの仕分けが不要の旨のメッセージをパッキング装置 1 2 へ送信する (ステップ S 5 2)。

【 0 0 6 1 】

一方、パッキング対象商品の商品コードが NON - P L U 商品である場合には (ステップ S 5 1 ; Y e s)、ネットスーパー管理サーバ 1 1 の制御部 3 1 は、商品コードに含まれる物品コード部および金額部 (価格情報) を抽出し (ステップ S 5 3)、物品コード部を検索条件として注文管理ファイル 3 7 4 を検索する (ステップ S 5 4)。

【 0 0 6 2 】

該当するレコードが存在しないと判定した場合 (ステップ S 5 5 ; N o)、ネットスーパー管理サーバ 1 1 の制御部 3 1 は、通知された商品コードの仕分けが不要の旨のメッセージをパッキング装置 1 2 へ送信し (ステップ S 5 2)、処理を終了する。

【 0 0 6 3 】

一方、該当するレコードが存在すると判定した場合 (ステップ S 5 5 ; Y e s)、ネットスーパー管理サーバ 1 1 の制御部 3 1 (価格情報比較手段 5 7) は、通知された商品コードの上限金額、下限金額を取得する (ステップ S 5 6)。

【 0 0 6 4 】

例えば、NON - P L U 商品の上限金額幅のパーセンテージが「プラス 5 %」、下限金額幅のパーセンテージが「マイナス 0 %」に設定されている場合についての一例を図 1 3 に示す。なお、図 1 3 においては、小数点以下の金額は小数点第 1 位の値を四捨五入して

10

20

30

40

50

いる。

【 0 0 6 5 】

また、NON - PLU商品の上限金額幅のパーセンテージが「プラス5%」、下限金額幅のパーセンテージが「マイナス5%」に設定されている場合についての一例を図14に示す。なお、図14においては、小数点以下の金額は小数点第1位の値を四捨五入している。

【 0 0 6 6 】

次いで、ネットスーパー管理サーバ11の制御部31（価格情報比較手段57）は、スキャンした商品コードの金額部と、ステップS56で取得した上限金額および下限金額とを比較して、スキャンした商品コードの金額部が上限金額および下限金額内に存在するかどうかを判断する（ステップS57）。

10

【 0 0 6 7 】

スキャンした商品コードの金額部が上限金額および下限金額内に存在すると判断した場合（ステップS58；Yes）、ネットスーパー管理サーバ11の制御部31（商品代替手段58）は、スキャンした商品コードに対応する各レコードに含まれるシーケンス番号のうち、最小の値に関連付けられた箱番号をパッキング装置12へ送信する（ステップS59）。

【 0 0 6 8 】

例えば、図13に示した例においては、100gの注文商品（販売金額150円）が店舗に存在せず、105gの在庫商品（販売金額158円）がピックアップされてスキャンされた場合に、105gの在庫商品（販売金額158円）は上限金額および下限金額内に存在することになるので、105gの在庫商品（販売金額158円）を100gの注文商品（販売金額150円）とみなしてパッキング作業を進める。このようにするのは、NON - PLU商品については、厳密に同じ商品コードでなく金額に多少のズレがあっても、パッキング処理を可能にするためである。

20

【 0 0 6 9 】

一方、スキャンした商品コードの金額部が上限金額および下限金額内に存在しないと判断した場合（ステップS58；No）、ネットスーパー管理サーバ11の制御部31（商品代替手段58）は、通知された商品コードの仕分けが不要の旨のメッセージをパッキング装置12へ送信する（ステップS52）。

30

【 0 0 7 0 】

例えば、図13に示した例においては、100gの注文商品（販売金額150円）が店舗に存在せず、110gの在庫商品（販売金額165円）がピックアップされてスキャンされた場合に、110gの在庫商品（販売金額165円）は上限金額および下限金額内に存在しないことになるので、110gの在庫商品（販売金額165円）を100gの注文商品（販売金額150円）とみなすことはできない。

【 0 0 7 1 】

以上により、ステップS33のNON - PLU商品対応処理が終了する。

【 0 0 7 2 】

図11に戻り、パッキング装置12の制御部46は、ネットスーパー管理サーバ11から箱番号が送信されたか否かを判定し、商品コードの仕分けが不要の旨のメッセージを受信した場合には（ステップS14；No）、このメッセージを表示部43に表示し（ステップS15）、処理を終了する。これにより、パッキング作業者は、表示部43に表示されたメッセージを確認することで、仕分けが必要な商品か否かを容易に判断することができる。

40

【 0 0 7 3 】

また、ステップS14において、ネットスーパー管理サーバ11から箱番号を受信した場合（ステップS14；Yes）、制御部46は、この箱番号の値を表示部43に表示し（ステップS16）、コードスキャナ41からの入力を待機する（ステップS17；No）。

50

【 0 0 7 4 】

ここで、パッキング作業者は、手にした商品をステップ S 1 6 で表示された箱番号に対応する収納箱に収納した後、パッキング装置 1 2 のコードスキャナ 4 1 により、この収納箱に付加された箱番号の読み取りを行う。

【 0 0 7 5 】

パッキング装置 1 2 の制御部 4 6 は、コードスキャナ 4 1 を介して箱番号が入力されると (ステップ S 1 7 ; Y e s)、この箱番号をネットスーパー管理サーバ 1 1 へ送信することで、当該箱番号の整合性を確認する (ステップ S 1 8)。

【 0 0 7 6 】

ネットスーパー管理サーバ 1 1 の制御部 3 1 は、パッキング装置 1 2 から箱番号の通知を受け付けると、この箱番号とステップ S 2 4 で送信した箱番号とが一致するか否かを判定する (ステップ S 3 5)。ここで、不一致と判定した場合 (ステップ S 3 5 ; N o)、制御部 3 1 は、仕分け先に誤りがある旨のメッセージをパッキング装置 1 2 へ送信する (ステップ S 3 6)。

10

【 0 0 7 7 】

また、ステップ S 3 5 において、両箱番号が一致と判定した場合 (ステップ S 3 5 ; Y e s)、制御部 3 1 は、仕分け先が正しい旨のメッセージをパッキング装置 1 2 へ送信する (ステップ S 3 7)。パッキング装置 1 2 の制御部 4 6 は、ネットスーパー管理サーバ 1 1 から送信されたメッセージを受信すると、このメッセージを表示部 4 3 に表示する (ステップ S 1 9)。

20

【 0 0 7 8 】

これにより、パッキング作業者は、表示部 4 3 に表示されたメッセージを確認することで、仕分けが正しく行われたか否かを容易に判断することができる。なお、本実施形態では、箱番号の一致判定をネットスーパー管理サーバ 1 1 が行う形態としたが、ネットスーパー管理サーバ 1 1 から送信された箱番号と、コードスキャナ 4 1 を介して入力された箱番号とを比較することで、パッキング装置 1 2 自身が一致判定を行う形態としてもよい。

【 0 0 7 9 】

続いて、ネットスーパー管理サーバ 1 1 の制御部 3 1 は、処理対象としたシーケンス番号のレコードに含まれるチェックステータスを、処理済みを表す “ 1 ” に変更する (ステップ S 3 8)。

30

【 0 0 8 0 】

パッキング作業者は、ピッキング作業から引き渡された全ての商品について、上記のパッキング処理を施すと、操作入力部 4 2 を介して仕分けが完了したこと指示する操作を行う。パッキング装置 1 2 の制御部 4 6 は、操作入力部 4 2 を介して仕分け完了の指示を受け付けると (ステップ S 2 0 ; Y e s)、予め入力された便番号と仕分け完了を表す仕分け完了情報とをネットスーパー管理サーバ 1 1 へ送信する (ステップ S 2 1)。

【 0 0 8 1 】

一方、ネットスーパー管理サーバ 1 1 の制御部 3 1 は、パッキング装置 1 2 から便番号と仕分け完了情報とを受け付けると、注文管理ファイル 3 7 4 を参照し、この便番号に対応する各レコードに含まれたチェックステータスのうち、未処理を表す “ 0 ” のものがあれば (ステップ S 3 9 ; Y e s)、未処理の商品がある旨のメッセージ (例えば、未処理の商品の一覧) をパッキング装置 1 2 へ送信するとともに (ステップ S 4 0)、便番号に対応する各レコードに含まれたチェックステータスのうち、未処理を表す “ 0 ” のものを、欠品を表す “ 9 ” に変更し (ステップ S 4 1)、処理を終了する。

40

【 0 0 8 2 】

パッキング装置 1 2 の制御部 4 6 は、ネットスーパー管理サーバ 1 1 から送信されたメッセージ (例えば、未処理の商品の一覧) を受信すると、このメッセージを表示部 4 3 に表示し (ステップ S 2 2)、処理を終了する。

【 0 0 8 3 】

一方、ネットスーパー管理サーバ 1 1 の制御部 3 1 は、未処理を表す “ 0 ” のものがな

50

ければ(ステップS39;No)、そのまま処理を終了する。

【0084】

このように、パッキング作業者がピッキングした商品に付加されたコードシンボルをパッキング装置12のコードスキャナ41によりスキャンする(読み取る)と、客ごとに割り当てられた箱番号をパッキング装置12に表示する。パッキング作業者は、パッキング装置12に表示された箱番号に基づいて各商品を収納箱に仕分けることになるので、ミスを軽減でき、また、作業効率の向上を図ることができる。

【0085】

このようにして配送元となる店舗においてパッキング作業者によって収納箱に仕分けられた商品は、図15に示す配送伝票(受領伝票)200とともに配送担当員へと引き渡され、配送先の顧客宅へと配送される。商品配送完了後、顧客の受領サイン又は捺印された配送伝票(受領伝票)200は、POSシステム7を備えた店舗へと返送される。

10

【0086】

また、店舗のキャッシャは、店舗へと返送された配送伝票(受領伝票)200に印字された各商品のコードシンボル(ネットスーパーにおける購入時の販売価格を含む)をPOS端末2のコードスキャナにより読み取る。通常の売上処理と同様に、POS端末2は、配送伝票(受領伝票)200に印字された各商品に付加されたコードシンボルをコードスキャナにより読み取ると、このコードシンボルに含まれるネットスーパーにおける購入時の商品の販売価格及び販売個数に基づき、これら商品の総額を算出し精算等の処理を行って売上データを生成した後、当該売上データを所定のタイミングで店舗サーバ4に送信する。

20

【0087】

上述のように配送伝票(受領伝票)200に印字された各商品のコードシンボルにネットスーパーにおける購入時の販売価格を含めておくことで、例えば翌日配送やタイムサービスなどでリアル店舗の販売価格と異なっている場合でも、あくまでネットスーパーで購入された時の販売価格で売上計上されることになる。

【0088】

また、上述したように、100gの商品(販売金額150円)が店舗に存在せず、105gの商品(販売金額158円)がピッキングされてスキャンされた場合であっても、配送伝票(受領伝票)200に印字される商品は、100gの商品(販売金額150円)である。このようにすることで、顧客に対してお得感を出すことが可能になっている。

30

【0089】

このように本実施形態によれば、在庫商品に対応付けられている商品コードと、注文商品の商品コードとは一致しないが、共通する物品コードを有するNON-PLUコードであるとの比較結果があった場合に、在庫商品に対応付けられている商品コードに含まれる価格情報と注文商品の商品コードに含まれる価格情報との差が、予め定められた範囲内にある場合、在庫商品を注文商品とみなすようにしたので、ネットスーパーで注文した商品と同じ金額の商品が店舗に存在しないような場合であっても、欠品(品切れ)とせずに対処することができるようになる。

【0090】

また、本実施形態によれば、店舗における注文商品のピッキングに用いるピッキング伝票において、商品情報の一つとしてコードシンボルを含めるようにしたので、ピッキング伝票に基づくピッキング作業により収集した商品を顧客毎に仕分けるパッキング作業を行う際に、商品に対してバーコードや二次元コード等のコードシンボルが貼付けされていない商品については、当該ピッキング伝票上のコードシンボルのスキャンによるパッキング作業ができるようになり、作業効率を向上させることができる。

40

【0091】

以上、本発明の実施の形態について説明したが、本発明はこれに限定されるものではなく、本発明の主旨を逸脱しない範囲での種々の変更、置換、追加等が可能である。

【0092】

50

また、上記実施形態では、ネットスーパーサーバ6を店舗の外部に配置する形態としたが、これに限らず、店舗内に配置する形態としてもよい。また、ネットスーパー管理サーバ11や店舗サーバ4が、ネットスーパーサーバ6の機能を具備する形態としてもよい。

【0093】

また、上記実施形態では、商品コード及び箱番号がコードシンボル中に保持されている形態としたが、これに限らず、RFIDタグ等の形態で保持されていてもよい。なお、この場合、パッキング装置12は、コードスキャナ41に替えてRFIDリーダ/ライタを備えるものとする。

【0094】

また、上記実施形態の各装置で実行されるプログラムは、ROM等に予め組み込んで提供するように構成してもよい。また、上記プログラムは、インストール可能な形式又は実行可能な形式のファイルでCD-ROM、フレキシブルディスク(FD)、CD-R、DVD等のコンピュータで読み取り可能な記録媒体に記録されて提供されてもよい。

【0095】

また、上記プログラムを、インターネット等のネットワークに接続されたコンピュータ上に格納し、ネットワーク経由でダウンロードさせることにより提供するように構成してもよい。また、上記プログラムをインターネット等のネットワーク経由で提供又は配布するように構成してもよい。

【0096】

本発明のいくつかの実施形態を説明したが、これらの実施形態は、例として提示したものであり、発明の範囲を限定することは意図していない。これら新規な実施形態は、その他の様々な形態で実施されることが可能であり、発明の要旨を逸脱しない範囲で、種々の省略、置き換え、変更を行うことができる。これら実施形態やその変形は、発明の範囲や要旨に含まれるとともに、特許請求の範囲に記載された発明とその均等の範囲に含まれる。

【符号の説明】

【0097】

- 10 端末装置
- 11 情報処理装置
- 51 コードシンボル生成手段
- 52 ピッキング伝票出力手段
- 53 コードシンボル付加判断手段
- 54 注文商品コード記憶手段
- 55 商品コード入力手段
- 56 比較手段
- 57 価格情報比較手段
- 58 商品代替手段
- 374 記憶部

【先行技術文献】

【特許文献】

【0098】

【特許文献1】特開2011-164775号公報

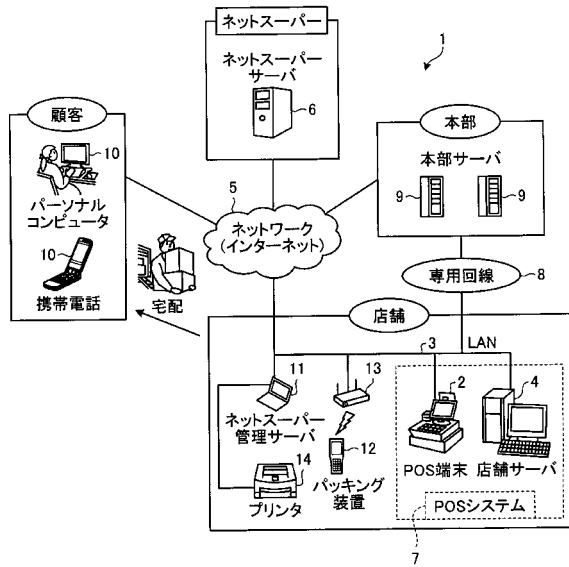
10

20

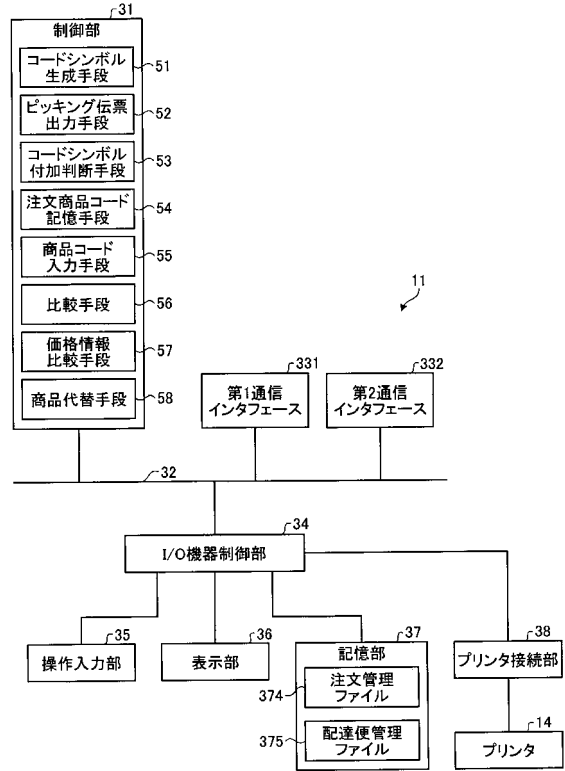
30

40

【図1】



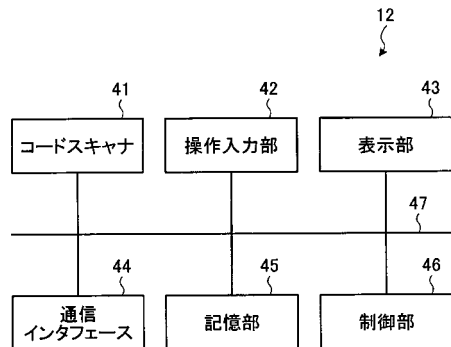
【図2】



【図3】

便番号	箱番号	シーケンス番号	商品コード	商品名称	カテゴリID	チェックステータス
1203	1-1	1	00000000000001	だいこん	1	1
1203	1-1	2	00000000000002	玉ねぎ	1	9
1203	1-1	3	00000000000001	だいこん	1	1
1203	1-2	4	00000000000001	だいこん	1	1
1203	1-2	5	00000000000003	ニンジン	1	0

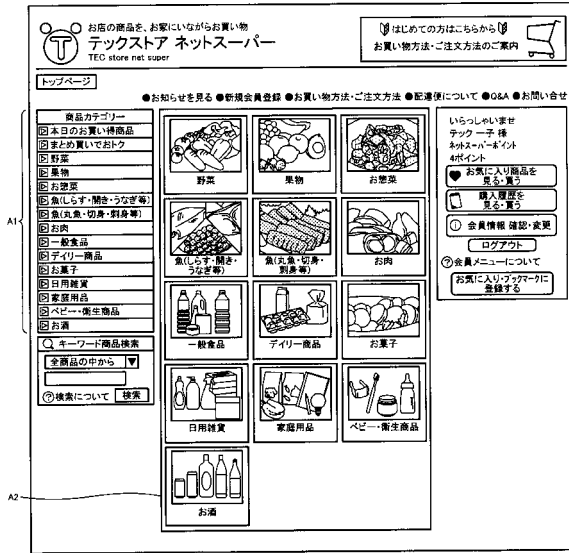
【図5】



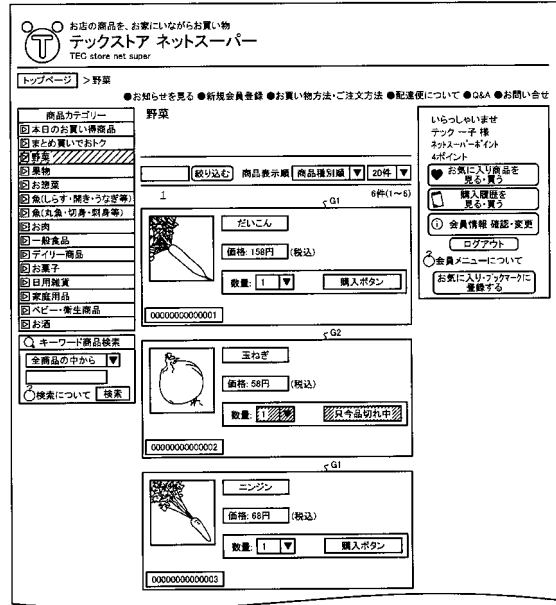
【図4】

便番号	配達日付	配達時刻	締切時刻
1203	2010/01/07	18:00-20:00	15:00
1204	2010/01/08	12:00-14:00	09:00
1205	2010/01/08	14:00-16:00	11:00
1206	2010/01/08	16:00-18:00	13:00
1207	2010/01/08	18:00-20:00	15:00

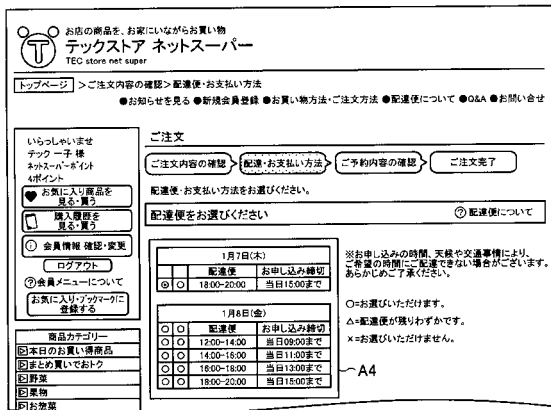
【図 6】



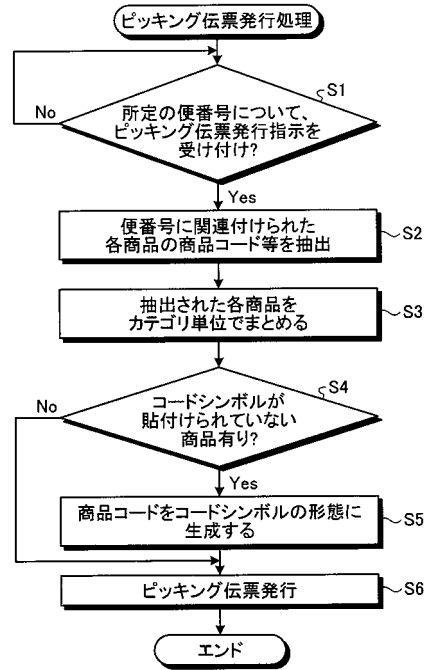
【図 7】



【図 8】



【図 9】



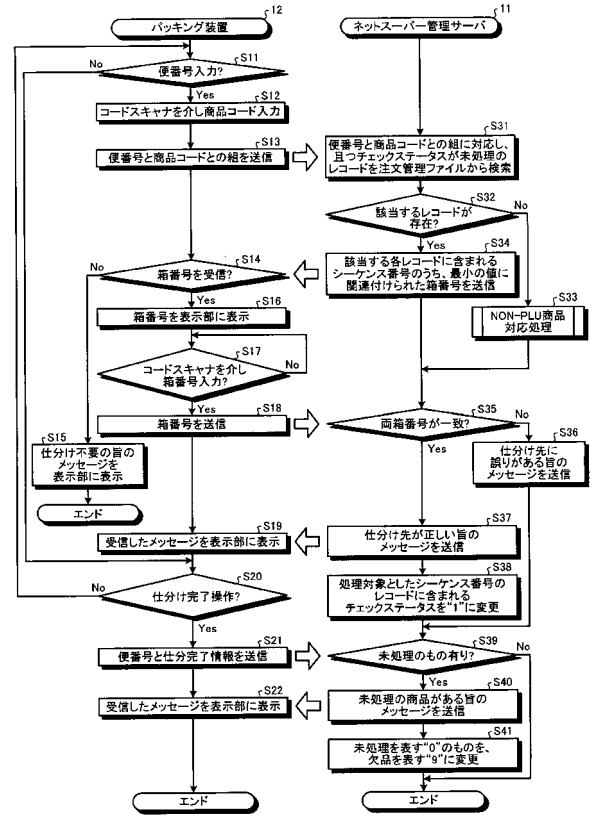
【図10】

100

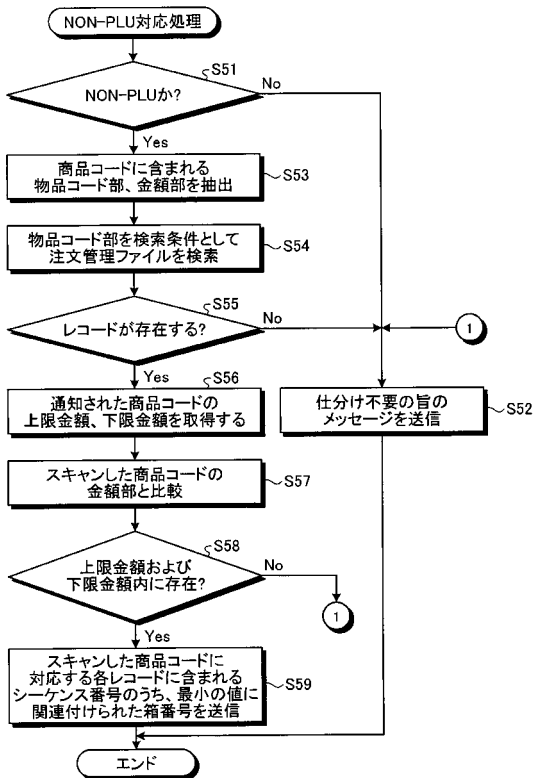
ピッキング伝票		カテゴリグループ 1			
〇〇スーパー京都店					
配達店	2008.12.6	15:00出発	注文終了 13:00		
対象カテゴリ名称 (中カテゴリ)	野菜、くだもの、牛肉				
JANコード番号	写真	商品名	産地	数量	特記事項 (欠品・不良等)
123456780124		だいこん	大分	¥120	
野菜				10	
123456780125		にんじん	岡山	¥170	
野菜				5	
123456780126		りんご	山梨	¥120	
くだもの				8	
123456780127		トマト	茨城	¥300	
野菜				15	
123456780128		霜降近江牛	三重	¥1,500	
牛肉				2	
123456780131		キャベツ	長野	¥150	
野菜				2	
合計商品点数				42	

※複数枚数の場合はホットキスで留めてください。

【図11】



【図12】



【図13】

OFFXXXXX00000の場合 プラス5%、マイナス0%の場合

	設定JAN	規格	売価	上限金額	下限金額
規格1	OFFXXXXXX0150C	100g	150円	158円	150円
規格2	OFFXXXXXX0300C	200g	300円	315円	300円
規格3	OFFXXXXXX0450C	300g	450円	473円	450円

【図14】

OFFXXXXX00000の場合 プラス5%、マイナス5%の場合

	設定JAN	規格	売価	上限金額	下限金額
規格1	OFFXXXXXX0150C	100g	150円	158円	142円
規格2	OFFXXXXXX0300C	200g	300円	315円	275円
規格3	OFFXXXXXX0450C	300g	450円	473円	427円

【 図 1 5 】

200

受領伝票		テスト用 店舗		
注文番号	1-090308-00001	会員番号	1-103	
ご指定配達便	2009年03月18日 12:00~14:00便	注文順	1/1	
お名前	風岩かずひろ様	お支払方法	代引き	
ポイントカード		配達員 印	受領印 印/サイン	
お買い上げ合計金額	¥4,863 <small>うち消費税 ¥231</small>			
商品名	バーコード	単価	再ピック	特記事項
国内産 和牛肩ロースす切り (約140g入) 100g当約772円の品		¥1,080		
国内産 和牛サーロインステーキ1枚 (約180g) 100g当約980円の品		¥1,734		
国内産 和牛サーロインステーキ1枚 (約180g) 100g当約980円の品		¥1,734		
配送料		¥315		
※複数枚数の場合はホッチキスで留めてください。				つづき ナシ
要望欄				

フロントページの続き

(51)Int.Cl. F I
G 0 7 G 1/12 3 1 1 B

(56)参考文献 国際公開第 2 0 1 1 / 1 2 5 7 8 7 (W O , A 1)
特開 2 0 0 2 - 0 4 6 8 2 0 (J P , A)
特開 2 0 0 1 - 0 0 6 0 5 4 (J P , A)
特開平 0 5 - 0 6 7 2 7 3 (J P , A)

(58)調査した分野(Int.Cl. , DB名)
G 0 6 Q 1 0 / 0 0 - 5 0 / 3 4
G 0 7 G 1 / 0 0 - 5 / 0 0